



ひとにやさしく(か)んぱいすぎずに継続し勇気をもって(し)っかり学ぶ 東っ子! 413名

【今回の学校だけでなく、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(〽)】

## 飯塚東小タイム：漢字コンクールに向けて

# 笑顔で、かつ、真剣に取り組んでいます(〽)

10月1日(水)が漢字コンクールの当日です。現在9月4日から9月30日まで朝学(東ショウタイム)で練習しています。先週12日にプレテストを行いました。学力向上の先生方※と指導方法工夫改善担当の先生方※にご提案いただき、職員室の専科の先生※と力を合わせ、本校の子ども達が未来に向けて笑顔になれるよう漢字マスターに向けて力を注いでくださっています。

※山崎先生・梶原先生・平井先生・辻野先生・黒屋教頭先生・教務の芝山先生・担任の先生方・児童支援と児童サポートの先生方どうぞよろしくお願いいたします。》

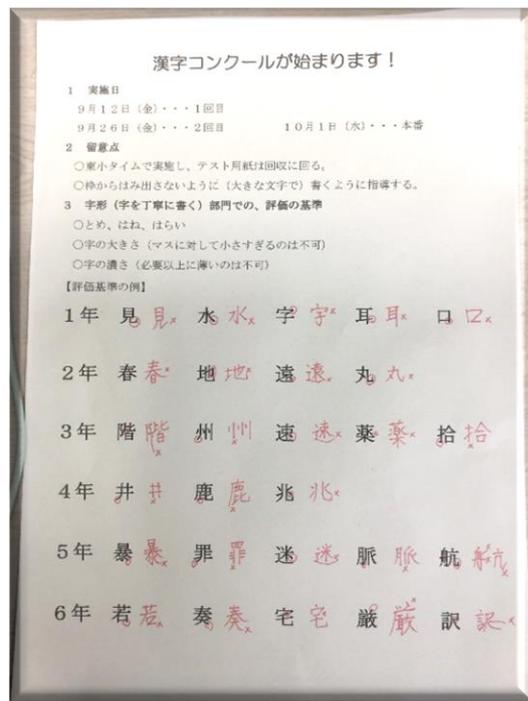
P.S. 国際ディスレクシア協会(IDA)の書字障害に関する詳細情報最新の研究によると、なんと学齢期の子どもの7-15%が何らかの書字困難を抱えており、成人においても5-20%の人が書字障害(ディスグラフィア)の特徴を持っていると言われています。これは決して珍しいことではないらしいのです。実際、レオナルド・ダ・ヴィンチ、アインシュタイン、エジソンなど、歴史に名を残す偉人たちも学習困難を抱えていたと言われています。

伝記によりますと、彼らは学校時代所謂「できの悪い子」とされてきましたが、これは学習障害ではなく、教育方法の問題だったと文献では述べられています。本校では、抜き打ちの一発試験ではなく、スモールステップ方式で少しずつクリアできるように練習期間を設けて、本番のテストの前に2回のプレテストをおこなっていきます。また、コンクールも3部門に分けており、①字体部門(漢字を覚えるチャレンジ部門)②字形部門(字を丁寧に書くマスター部門)③総合部門にわけて、各クラスごとに表彰します。全国の運動会に例えますと、リレーの漢字テストバージョン、福岡県教育委員会スポコン広場の種目に例えますと、3分間連続短縄跳び(かぶりとび)の部の漢字テストバージョンでございます。なお、このテスト問題は、飯塚市19校が年度終わりに漢字検定問題を解いて飯塚市の教育委員会に提出する漢字を問題としていますので、実は、一石二鳥なのでございます。以下に示した写真は、指導方法工夫改善の先生方及び学力向上の先生方から担任の先生方にお配りになられた、本校オリジナルのポイント基準と、丸付け採点の評価基準の例プリントでございます。あおぞら学級のお子さんも字形が合格の場合はシールが張られます。どうぞ児童の皆さんお楽しみに……。関係の先生方、大切なお指導ありがとうございます。漢字が苦手なお友達も自分なりにスモールステップで苦手意識を払拭し、得意なお友達が苦手意識を持ったお友達をフォローする漢字コンクールの結果は10月に掲載いたします。(なお、2ページ目の写真は低・中学年は東ショウタイム実施中の1ショット(3の1さんは音読の1ショット)、高学年6クラスは東ショウタイム後のほっとしている1ショットでございます。切れてしまった先生ごめんなさい。)(〽)

名称は考え中・・・

① 字体部門			② シール児童割合			③ 総合部門	
平均正答率	級	得点	級	得点	総合点	賞	
95~100	初段	4	95~100	初段	4	8.7	プラチナ
90~94	1級	3	90~94	1級	3	6.5	金
85~89	2級	2	85~89	2級	2	4.3	銀
80~84	3級	1	80~84	3級	1	2	銅

【例】6-4 <<クラス平均正答率 9.2 シール児童割合 8.7>>の場合  
9.2→1級(1級の賞状) 8.7→2級(2級の賞状)  
1級(3点)2級(2点)計5点(金賞の賞状)



# 飯塚東小タイム：漢字コンクールに向けて

1年生



3年生

2年生



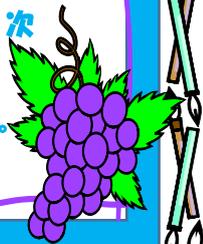
4年生



5年生



5年生の皆さんお疲れさまでした。次回取材時は間に合わせたいな……いつも表情がいいですね。ありがとう。



6年生



10月25日(土)の大運動会も  
よろしくお祈りしますね。  
縦割り活動など期待していますよ。  
明日10月行事予定号出せたら…(…)